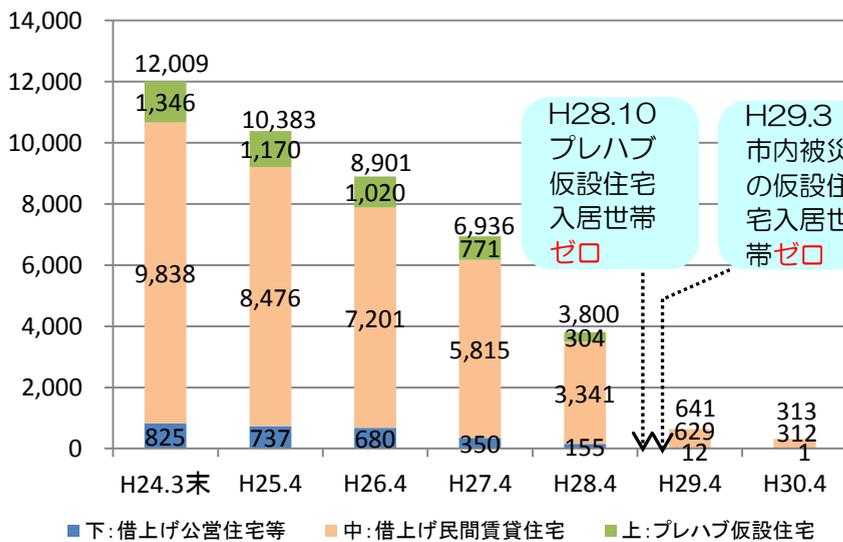


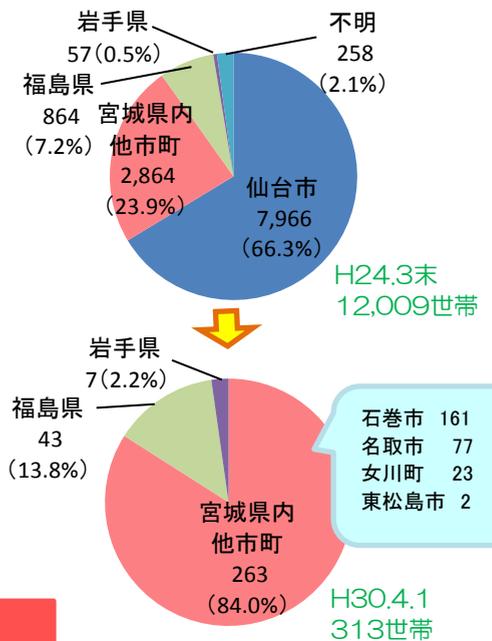
入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- 市内の仮設住宅入居世帯は313世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の2.6%まで減少しています。
- 市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建され、仮設住宅には市外で被災された世帯のみが入居されています。
- プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



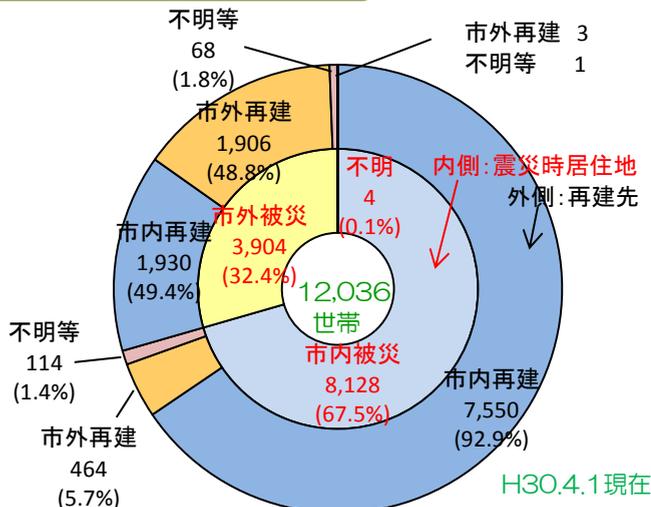
震災時の居住地別入居状況



入居世帯の住まいの再建

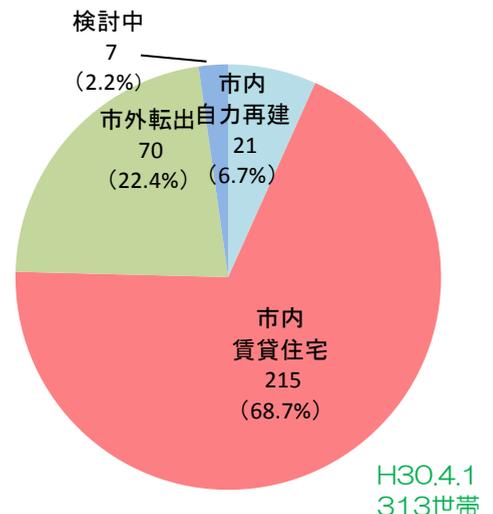
- これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。（市内被災世帯の約93%、市外被災世帯の約49%が仙台市内で再建）
- 現在仮設住宅に入居されている世帯のうち、約75%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。

震災時の居住地別再建状況



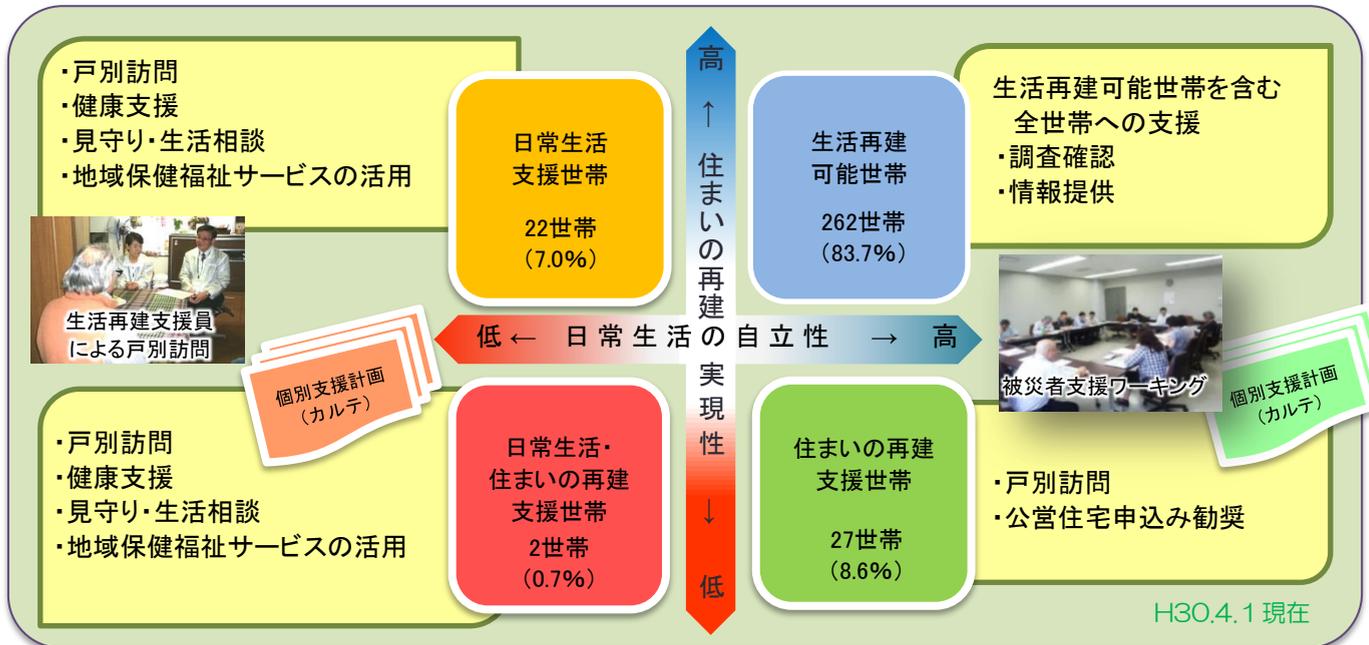
※H24.3末(ピーク時)以前に再建した世帯を含む。

仮設住宅入居世帯の再建方針



入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



● サロンの立ち上げを応援します！～「つなぐ・つながるプロジェクト」～ ●

仙台市社会福祉協議会では、復興公営住宅などにおいて、住民の皆さんによるサロン活動を行っている地域や、これから立ち上げようとしている地域に出向き、サロン活動に必要な情報や開催のためのノウハウを提供するなど、活動が継続して行われるよう、地域人材の育成に向けた「サロン立ち上げ応援プログラム」を実施しています。

「上原なかよしお茶サロン」が始まりました

ステップ1: 企画

平成29年11月28日、上原市営住宅の町内会長や住民有志と社会福祉協議会で講座の内容について協議。

みんながつどえる場所にしたい！

みんなで長く続けることが大切。

まずはお茶飲みからスタートだね。

チラシを回覧して、参加者を募りましょう！

ステップ2: 講座開催

- 【1回目】平成29年12月12日
 - ◆講義：「サロンの目的、その前に～どんな地域にしたいですか～」
 - ◆話し合い：「上原住宅、どんなところにしたいですか」
- 【2回目】平成29年12月19日
 - ◆事例紹介：「うちのサロンはこんな感じ」（講師）落合市営住宅自治会「シニア会」
 - ◆話し合い：「どんなお茶っこサロンにする？」
 - ◆講義：「サロンを開くのに必要なモノ・コト」
- 【3回目】平成30年2月14日
 - ◆話し合い：「サロンの開催に向けて」



ステップ3: サロン実施

第1回上原なかよしお茶サロン開催
平成30年3月19日、住民の方19名が参加し、軽体操やコミュニケーション麻雀、お茶飲みなどで和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。参加された皆さんからは、今後の開催を期待する声が多く寄せられました。

ここはこうでしょ

男性にもっときてほしいね

これからも続けてほしいな